

# カーコンリースもろコミ



ご契約期間中のガソリン代

毎月最大 2,000円 キャッシュバックキャンペーン

※「もろコミ」でご契約頂いたお車に給油したガソリン代を、カーコンビニ倶楽部(株)が、リース全期間中1リットルあたり20円、毎月100リットルを上限に補助(最大2000円)いたします。本サービス内容は予告なく終了する場合がございます。詳しくはもろコミHPでご確認ください。

「頭金0円」、しかも「登録時諸費用」や乗っている間の「車検基本料」、「自動車税」、「自賠責保険料」、「自動車重量税」すべてが月々税込み 8,000円(※)に含まれています。さらに、ご契約期間満了時には車がもらえます。

※8,000円は、ボーナス月加算ありの金額となります

## 「私は、一日266円で

(※)



※9年カーリースの場合  
ボーナス月加算あり

=



+



+



+



※266円は、ボーナス月加算額を含んでおりません

## 車に乗ってます」

カーコンビニ倶楽部 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19 大滝ビル  
☎0120-0120-55 もろコミ 検索

### 人口減少と車社会

このコラムでも何度かテーマとして取り上げているように、日本の少子高齢社会が実態として表面化してきた。仕事柄、車のメーカー、保険屋さん、あるいは地方の議員さんなどと接する機会が多いのだが、実は、基本的な少子高齢社会を実感できている人はほとんどいない。この少子化は、残念ながら、絶対に止まりやうがないし、向こう40年近くは出生数が死亡数を上回ることはないだろう。それは、国家の財政の基本となる税収に大きく影響し、労働力不足として、さらに深刻化するであろう。

国立社会保障・人口問題研究所の発表によると、人口減少をめぐっては、衝撃的な数字が上がってきている。2040年に65歳以上の人口が50%を超える。加えて、2060年には、我が国の人口は、9000万人を下回る。場合によっては、2100年の我が国の人口は5000万人前後になるであろう。

先に述べたように、労働人口の減少で、経済成長が減速、それにより、税収が減少し国の借金が増える、という国の財政問題として人口減少を捉えるアナリストが多いのだが、実は課題解決の優先順位はエネルギーである。

我々がまるで空気や水のように、あって当たり前と思っている電気エネルギーは、ほとんどが価格変動が激しい化石燃料の輸入でまかなわれている。日本は世界第4位のエネルギー消費国でありながら、エネルギー自給率はたった8%だ。これは先進国の中でも極めて低い。東日本大震災を契機に原子力が大幅に減り、化石燃料の依存度がおよそ8割まで上昇している(資源エネルギー庁「エネルギー白書2017」)。エネルギーの安定供給があってこそ、労働力不足に対しての無人化であり、介護ロボットなのだ。

車の業界において、AIや電気自動車の普及による新しい空間移動体、さらには自動運転対応の無人化と、今後10年で様変わりするのは事実となっている。しかし、いかにして電気を蓄える電池を活用するか、ということについても解決策がない。充電時間を短縮し、長時間高いエネルギー効率を発揮する電池は現在のところ開発の途上にある。

よくよく考えてみると人間も同じではなからうか。如何にキャリアを変え、如何にファッションを変えたところで一番大切なのはその人の生きるエネルギーである。

ある目的を持って、それを生きがいとしたときに、生きるエネルギーの強さはその人の人生を最大に幸せにする。

私にとって、将来の車社会に対応するカーコンビニ倶楽部の新しい未来を考えることは、今の私の最大のゆるぎなきエネルギーの源になっている。



林 成治 Seiji Hayashi  
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業  
1981年4月:プロミス株式会社入社  
2008年4月:同社執行役員就任  
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任  
2008年10月:同社代表取締役就任  
2009年8月:バル債権回収株式会社 常務取締役就任  
2010年4月:株式会社Do フィナンシャルサービス取締役就任  
2011年1月:同社取締役就任  
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任